

3月定例会 平成30年度一般会計予算成立 歳入歳出 145億4,000万円に

会 計 名		予 算 額	前年度比較(%)
一 般 会 計		145億 4,000万円	4.3
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	31億 1,290万円	△14.1
	後 期 高 齢 者 医 療	3億 3,378万円	5.9
	農 業 者 労 働 災 害 共 済	500万円	0.0
	水 道 事 業	9億 9,277万円	△1.3
	工 業 用 水 道 事 業	1,684万円	53.0
	公 共 下 水 道 事 業	23億 2,061万円	△2.1
	農 業 集 落 排 水 事 業	2,751万円	△76.2
芦原温泉上水道財産区水道事業		2億 1,966万円	8.1
合 計		215億 6,907万円	△0.1

あわら市平成30年度当初予算のポイント

人口減少・高齢化が進む中、10年先、20年先を見据えて、「誰もがときめくあわら市」を目指し、特に以下の5つの項目に重点的に予算を配分しました。

- 1 JR芦原温泉駅及び周辺の機能の充実と着実な整備の推進
- 2 子育て支援の強化、高齢者が元気に暮らすまちづくり
- 3 教育環境の充実
- 4 まち・むらの活性化及び産業の更なる振興
- 5 市民の声の市政反映、笑顔あふれる市役所に

<地方債及び基金・積立金の状況(平成30年3月末見込)>

地方債残高（市の借金）		基金・積立金残高（市の貯金）	
一般会計	179億 5,630万円	財政調整基金	31億 2,500万円
公共下水道会計	107億 6,094万円	地域振興基金	13億 円
水道事業会計	14億 4,709万円	その他	11億 3,848万円
農業集落排水事業会計	6,096万円	※一般会計所管 計	55億 6,348万円
合 計	302億 2,529万円	国民健康保険基金	3億 839万円
		農業者労働災害共済基金	3,252万円
		※特別会計所管 計	3億 4,091万円
		合 計	59億 439万円

市民1人当りの借金 約106万円

※ 1人当たりの借金・貯金の算定基準
平成30.2.1現在の人口 28,520人

市民1人当りの貯金 約20万7千円

3月定例会 平成29年度一般会計補正予算(第11号) 2億4,452万円を増額



- 平成29年度一般会計予算総額は153億8,264万1千円に
- 金津東小学校改修工事(トイレ、外壁等) 6,712万3千円
- あわら市教育委員会委員 さかの やすこ 坂野 靖子 氏の任命に同意
- 芦原温泉上水道財産区管理委員
いとう かずゆき 伊藤 和幸 氏、たつお あきひで 立尾 章英 氏、やまぐち とおる 山口 透 氏、
おくむら たかし 奥村 隆司 氏、こはま ひるのり 小濱 弘範 氏、はせがわ たくみ 長谷川 巧 氏の選任に同意
- 人権擁護委員 にしだ のりあき 西田 哲章 氏の推薦に同意

平成30年3月定例会が3月6日から3月23日までの会期で開催されました。

今定例会では、専決処分の承認を求めるもの2議案、平成29年度補正予算に関するもの8議案、平成30年度当初予算に関するもの9議案、条例の改正等に関するもの8議案、一部事務組合の規約の変更に
関するもの1議案、市道路線の廃止に関するもの1議案、人事に関するもの8議案の計37議案が上程さ
れ、すべて原案のとおり可決・同意しました。

なお、今回は9名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をたどしました。

その他、議員発議により2月の大雪に関する支援を求める意見書1件を可決しました。

正副議長 在職4年表彰

坪田 正武 議員が「福井県市議会議長会」から表彰を受けました。



総務教育厚生常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

平成29年度
一般会計補正予算

■教育総務課

金津東小学校

改修工事

6千712万3千円

理事者 金津東小学校校舎の外壁補修とトイレの改修を行います。

■子育て支援課

子ども医療費助成事業

8千760万円

理事者 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、0歳から中学3年生までの医療費の自己負担分を助成し、保険外分を除き、医療機関の窓口において無料とします。

■教育総務課

通学援助経費

(中学校)

4千390万9千円

理事者 中学校のスクールバスは、今まで保護者負担金をいただいていたが、これを廃止し無料とします。

金津東小学校
プール改修工事
3千172万3千円

理事者 29年度補正予算による外壁補修とトイレの改修に引き続き30年度予算でプールの改修を行います。

まち・むら
ときめき支援事業
600万円

理事者 将来にわたる集落機能の維持・活性化を目的として、「集落活性化計画」を策定し、それに基づく施策を支援します。



あわら市スクールバス

■文化学習課

勤労青少年ホーム
等解体工事及び跡地整備工事

5千900万円

理事者 勤労青少年ホーム及び社会福祉センター



金津小学校プール管内視察

金津小学校
プール解体工事
2千653万6千円

理事者 金津小学校のプールを改築するため、現在のプールを解体します。



元勤労青少年ホーム

平成30年度
国民健康保険特別
会計予算

理事者 資産割を廃止すると、税額が増える世帯が出てくるので、30年度は今まで通りとし、31年度以降に資産割の廃止を進めたいと考えています。

委員 国民健康保険特別会計には3億8千600万円の基金が積み立てられている。

保険税を引き下げるべきではないか。

理事者 毎年、基金を積み立てられるようであれば、保険税の引き下げも考えられます。

議案外の件

■健康長寿課

健康長寿祭開催中止

理事者 30年度は、国体の開催時期と重なるため、健康長寿祭を中止することにしました。

産業建設常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

平成29年度
一般会計補正予算

■農林水産課

園芸産地育成事業
(施設再整備型)

541万8千円

委員 台風21号により倒壊したハウスに対する補助だが、大雪においても多くのハウスが倒壊し、その補助については補正計上しないのか。

理事者 あわら市では補助する準備をしています。が、国及び県の動向が確定していないので、予算計上できません。しかし、国の補助が出る可能性があるため、今回の大雪被害に対する補助は、台風21号被害に対する補助以上に考えています。

平成30年度
一般会計予算

■観光商工課

ちはやふるを活用
した知名度向上事業

1千300万円

委員 当初は3年間の事業ではなかったか。

理事者 当初は3年間の事業でしたが、声優トークショーには非常に多くの参加があり、ちはやふるの人気は継続しています。

60万人のファンに対してPRすれば、本市の知名度も向上すると考えます。

実写映画及びアニメ第3期放送が発表され、このようなチャンスは他にはありません。

なお、前回のちはやふるファン感謝祭の参加者の半分は県外からであり、SNSで情報発信されています。本市のイメージが一気に上昇し、拡散したのも事実です。また、市民にも、より周知すべきだと考え、有効に実施していきます。

観光振興戦略策定事業
250万円

理事者 北陸新幹線県内延伸を控え、本市の観光を次のステージに引き上げるため、観光振興戦略を策定する新規事業です。

委員 本市は観光振興を



ちはやふるファン感謝祭

■建設課

社会資本整備総合
交付金事業
(北潟東赤尾線)

3千万円

委員 道路と宅地に高低



市道北潟東赤尾線冠水状況

合併浄化槽設置
整備事業

265万3千円

理事者 水質保全及び生活環境の改善のために補助金を交付する事業です。

委員 その補助対象はどの範囲か。

理事者 補助対象区域は公共下水道区域外となり、新設及び更新、どちらにも補助対象となります。

市政について問う!

3月の定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



インターネット中継で一般質問をご覧になれます。



吉田 太一 議員

- 雪害対策について
- これからの観光事業にどう取り組んでいくのか



笹原 幸信 議員

- Uターン・Iターンされてこられた方々への優遇策は考えられないか。また、若い人たちがあわら市に戻ってこられるようにする方策はないのか。
- 今回の豪雪の対応と将来の対策について



堀田 あけみ 議員

- あわら市の子育て施策について
- あわら市所有財産の管理について
- 緊急避難所と情報伝達について



仁佐 一三 議員

- 北潟湖畔公園のグレードアップについて
- 夢ぐるま公園について



山口 志代治 議員

- 連携中枢都市圏形成について
- 今回の豪雪についてのまとめ、反省点は



八木 秀雄 議員

- JR芦原温泉駅及び周辺の機能の充実と着実な整備の推進について
- 主要幹線道路など社会基盤の推進について



平野 時夫 議員

- 雪害の対応について
- 義務教育の就学援助について



山川 知一郎 議員

- 雪害対策について
- HEECE構想について
- 子育て支援について



室谷 陽一郎 議員

- あわら市の防災対策について
- 今後の市政について



吉田 太一 議員



雪害対策について

吉田 天気予報を参考にどう対応したのか。

市長 今回は、予報で大雪の可能性が非常に高いことが予想されたので、積雪5cm以上で、なおかつ降り続く状況であれば出動させるよう指示していたとの報告を受けています。

吉田 他の自治体からの応援は、どこから、どういった応援だったか。

市長 茅野市及び妙高市からはロータリー除雪車各1台、国土交通省からはロータリー除雪車3台、福井県からはタイヤショベル1台と4t及び10tダンプ各1台を投入していただきました。



災害時相互応援協定を結ぶ新潟県妙高市による除雪

吉田 災害対策本部を立ち上げどのような指示を行ったか。

市長 2月6日(火)午前7時に雪害対策連絡会議を設置し、同日午後2時に災害対策本部に格上げしました。その中で、11項目を指示・確認し、除排雪作業や市民への広報等について細かに指示を行ってきました。

吉田 今後の対策をどう考えるか。

市長 今回の対応に関する分析を基に、体制の見直しや、より実践的なマニュアルの作成などを行います。

また、社会経済情勢が変化していく中で、5年先、10年先を見据え、雪害対策も含め、防災対策の充実を図っていきたいと考えています。

これからの観光事業にどう取り組んでいくのか

吉田 これからの観光事業をどう進めていくのか。

市長 まずは、北陸新幹線開業に向けた観光施策を第一に進めていく必要があります。

また、本市の観光事業を次のステージに引き上げるため、年度毎、分野毎に取り組む事業などのロードマップを作る必要があります。

さらには、観光事業の効果も、商工業や農業などの振興にもつなげ、産業の活性化を図る必要があると考えています。

これらのことから、新年度は新たに、あわら市観光振興戦略を策定したいと考えています。

笹原 幸信 議員



Uターン・Iターンされてこられた方々への優遇策は考えられないか。また、若い人たちがあわら市に戻ってこられるようにする方策はないのか。

笹原 移住者に向けた優遇策を講じなければならぬのではないかと。

市長 空き家の取得やリフォームに対する補助、インターシップに参加するための交通費補助等を実施しています。

また、福井Uターンセンターでは、Uターン者の移住から定住までを総合的に支援しています。

笹原 Uターン者に対して国民健康保険税の算定方式は3方式にするなどできないものか。



移住フェア「福井暮らしカフェ」

市長 本年4月に、福井県が国民健康保険の財政主体となります。あわら市も県の運営方針に基づき、段階的に4方式から3方式へと移行することになると考えています。

笹原 福井県に戻った卒業生に対して奨学金返還を支援する県の制度があるが、市単独の上乗せは考えていないか。

市長 本年度末から県内指定業種の企業等で、一定期間勤務するなどの条件を満たす者に対して助成が開始されます。移住定住促進策の充実とはもとより、ふるさと教育への取り組みが重要だと考えています。

今回の豪雪の対応と将来の対策について

笹原 大雪に対する指揮命令系統を再構築すべきである。

市長 今後、今回の反省を踏まえ、指揮命令系統と情報発信機能の充実を図っていきます。

笹原 職員による除雪車の作業体制を整え、緊急時に備えてはどうか。

市長 除雪車が大型化、高度化していく中で、安全面も十分に考慮しながら、職員による非常時の出動体制を検討する必要があると考えています。

笹原 認定農業者などが保有するトラクターに除雪用アタッチメントを装備してもらい、緊急出動に備える補助制度を設けてはどうか。

市長 雪に強いまちづくり支援事業補助金制度がありますが、その対象を農業生産法人などにまで拡大することを検討していきます。

堀田 あけみ 議員

あわらしの
子育て施策について

堀田 フィンランドはネウボラという仕組みがあつて、かかりつけ担当者が妊娠から子どもの就学前まで、継続して家族をサポートしている。厚生労働省が推奨しているネウボラ制度に関して、本市では取り組みをはじめているのか。

健康福祉部長 本市では、日本版ネウボラである、子育て世代包括支援センター「こあらっこ」を平成28年4月1日に設置しました。

堀田 子育て支援センターの土・日・休日の開所を増やしてはどうか。
健康福祉部長 平成25年度から2カ月に1回

開所しており、その増加については検討していきたいと考えています。

堀田 子育て世代包括支援センターと子育て支援センターの2カ所ある窓口を1つにする考えはないか。

健康福祉部長 子育て世代包括支援センター「こあらっこ」が、切れ目ない支援のワンストップ拠点として地域に定着するよう周知に努めます。

あわらし市所有財産の
管理について

堀田 行政財産の有効活用について、長期ビジョンが必要と思うが、今後、どのような計画を立てられるのか。

総務部長 現在、あわらし市公共施設等総合管理計画の策定を進めています。この計画では、人口減少や費用対効果等を踏まえ、公共施設の更新や統廃合、長寿命化を計画的に行うことを基本としています。

緊急避難所と
情報伝達について

堀田 一時的な緊急避難所である区民館等の設備は整っているのか。

総務部長 各区において、区の実情に合わせ、区民館等の耐震化や防災資機材の整備などを県や市の補助事業を活用しながら進めています。

堀田 緊急時の市民への情報伝達はどのように行っているか。

総務部長 地域防災計画に基づき、放送機関への情報掲出依頼をはじめめとする多種多様な方法を駆使して、市民への情報提供を行うこととしています。



脇出区集会場

仁佐 二三 議員

北潟湖畔公園の
グレードアップ
について

仁佐 今年は国体のカヌースプリント競技会場にもなる湖畔公園について、大きな花壇があるが、散水栓までが遠い。花壇の近くに散水栓を整備できないか。

土木部長 この北潟湖畔公園を含み23カ所の都市公園等も維持管理しており、費用対効果等の観点からも困難であると考えます。

仁佐 設備が整っている第2管理棟を軽食などができる施設として活用し、貸し出してはどうか。
土木部長 現時点でも市民の方などがそうした利用をすることは可能

であると考えます。

仁佐 芝生広場にグラウンドゴルフの常設コースを作ってはどうか。

土木部長 この広場は現在ターゲットバードゴルフ協会やグラウンドゴルフ協会が各種大会等に利用しており、これらの団体の意見も聞きながら検討していく必要があると考えます。

仁佐 市と県による施設の管理役割について、管理する市が窓口として対応すべきでないか。

土木部長 サイクリングロードと付帯施設のサイクリングパークは福井県の施設で、あわらし市が管理を受託しています。そのため、施設の使用等に関する窓口はあわらし市となっており、湖畔公園とは一体的な管理を行っています。

夢ぐるま公園について

仁佐 夢ぐるま公園は高台にあり、見晴らしが最高の場所だが、知名度



北潟湖

が低く、その魅力が知られていない。北潟地域の他施設等と周遊させてはどうか。

市長 北潟地域の観光資源を、ひと工夫して「あわらしならではのもの」として磨き上げ、付加価値を高め発信することが重要であると考えています。

また、創作の森、古崎、鹿島の森、芝政ワールドなど市内外の観光地との結び付きを強め、周遊性を高めることにより、観光者の滞在時間を伸ばし、観光消費額の拡大に努めたいと考えています。

山口 志代治 議員

連携中枢都市圏形成
について

山口 福井市が中心となって進めている連携中枢都市圏形成について、あわらし市はどのように対応していくのか。

副市長 連携中枢都市圏制度は人口減少、少子高齢化社会においても活力ある社会経済を維持するため、嶺北11市町での圏域形成であり、中核市と周辺市町の1対1の連携協定により共通の課題に対応でき、今年度いっぱい具体的内容をまとめ、来年3月議会に上程することとします。

今回の豪雪について
のまとめ、反省点は

山口 今回の豪雪についてのまとめ、反省点は。

土木部長 除雪体制は27業者、除雪車86台、オペレーター122人体制で狭小な道路は小型機械にて除雪してきました。問題点については検証中です。

地域で自主的に取り

組んだ除雪に対する支援についても、今回予算計上をしています。獣害関係施設についても、今後対応をしていきます。家屋被害についても、見舞金を支給しています。これからの集落内除雪についても、大型トラクター等へ除雪機能を持たせるよう補助金の対象拡大を検討します。



災害時相互応援協定を結ぶ長野県茅野市による除雪

八木 秀雄 議員

JR芦原温泉駅及び周辺
の機能の充実と着
実な整備の推進
について

八木 今回の市長選の公約として、JR芦原温泉駅及び周辺の機能の充実と着実な整備の推進を掲げているが、詳しく具体的にその内容を伺う。

市長 まず、駅西口を中心としたにぎわい広場については、自由通路を通して最初に降り立つエリアとして、おもてなしをどう演出するのか、また、観光案内所としての機能をどう加えるのか議論を深める必要があります。一方、駐車場については、計画している駐車台数では、現在の駅前駐車

場と西口駐車場を合わせた台数より少なくなることから、例えば複層化し拡張することなども検討が必要と考えています。さらに、土地利用検討街区についても、既存の商店街の振興を念頭に、ビジョンを描くことが必要だと考えています。

八木 平成29年11月の全員協議会において、芦原温泉駅周辺まちづくりプラン(案)の協議の際に理事者から、市民等も含め人が集う機能を集積したいと答弁していたが、改めてどう考えているか伺いたい。

市長 新幹線効果を市内全域、さらには嶺北北部に波及させるための情報発信の仕組みづくりも必要と考えています。このためにも、現在のまちづくりプランの磨き上げが必要です。議会とも協議を重ねながら、6月ごろをめどに策定したいと考えています。



JR芦原温泉駅前

主要幹線道路など
社会基盤の推進
について

八木 都市計画道路南中央線が一番大事だと考える。市長選の公約に掲げているのもこの道路ではないか。

市長 私の公約で一番に掲げているのが都市計画道路南中央線であり、当該道路については最優先で進めていきたいと考えています。今進めないと、将来的に進めることはできないと思います。全力で取り組むように働きかけていきます。

室谷 地域防災計画は存在するが、それを基にした準備や、実行出来る状態にあるのか。特に、各避難所の運営はどうか。

総務部長 職員の行動については図上訓練や総合防災訓練を通して周知しています。また、順次マニュアル等の整備も行っています。

一昨年、県の総合防災訓練で、市では初めて避難所での実際の訓練を行いました。各避難所の運営のマニュアル化は行いましたが、過去の災害を教訓に避難所の在り方を検討していきます。

あわら市の防災対策について



室谷陽一郎 議員

室谷 防災の専門知識教育コース等に派遣して防災のエキスパートを育成する考えは。

総務部長 市では安全対策室を設置しています。最新の防災に対する研修講習には派遣していません。今後は派遣する事も検討します。

室谷 小中学生に対する防災教育は現在どのように行われているか。

教育長 年に一、二回避難訓練をしています。東日本大震災以降は災害を想定し、親に学校まで来てもらったの引き渡し訓練をしています。

室谷 災害時における市としての飲料食料の備蓄は適正か、また、備蓄量の根拠はどうか。

総務部長 現在、市は県から示された食料飲料水の備蓄基準数量を満たしています。

災害発生時に際して、国や県内外の協定自治体から食料等応急的に確保する計画となっています。



地域住民が主体的に参画する事業です。

市長 事業主体は地域住民です。市の職員が地域住民に実態課題をヒアリングし、その取りまとめ作業をコンサルタントに委託します。

室谷 公約タイトル事業「まち・むらときめきプラン」事業主体はどこにあるのか。

市長 公民館や集会所に出向き自治会、各種団体、企業との意見交換を行う場を設けます。市政への理解と市民の声を直接聞きます。

室谷 どのようにして市民の声をしっかりと受け止め、市政に反映させるのか。

今後の市政への取り組み方について

議員会 激励金・協賛金一覧

あわら市議会議員会は、青少年の育成を目的に、小中学生がスポーツ等で全国大会に出場した場合、内規に基づき激励金を支出しています。また、地域の活性化を図る観点から、各種協賛金も支出しています。平成29年度の激励金・協賛金一覧を掲載します。



7月18日 選手激励 (単位:円)

月	激励金・協賛金の内容	金額
4月	緑の募金	9,000
7月	金津祭りPRポスター作製 補助金	100,000
	芦原中学校サマーコンサート 協賛金	10,000
	金津中学校サマーコンサート 協賛金	10,000
	全日本卓球選手権大会 激励金(個人)	5,000
	全日本少年少女空手道選手権大会 激励金(個人)	5,000
	文化協議会賛助会員 会費	18,000
	日中友好協会 会費	18,000
	金津創作の森友の会 年会費	36,000
	社会福祉協議会 特別会費	36,000
	あわら北潟湖畔観月の夕べ 協賛金	100,000
9月	赤い羽根共同募金	54,000
12月	ジュニアオリンピック陸上競技大会 激励金(個人)	5,000
	バトントワーリング全国大会 激励金(個人)	5,000
2月	全国都道府県対抗中学バレーボール大会 激励金(個人)	5,000
	都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会 激励金(個人)	5,000
3月	全国小学生ソフトテニス大会 激励金(個人)	5,000
3月	ヤングリーグ春季大会 激励金(個人)	5,000
合 計		431,000



平野時夫 議員

雪害の対応について

平野 ハウスの倒壊被害数と損害額はどれくらいになるのか。

経済産業部長 県、市、JA等関係機関の調査によると、2月27日現在、ハウス倒壊数171棟で全体の約3割程度、損害額は約1億9千万円と推計しています。

平野 今年の作付けへの影響はどのようになるのか。

経済産業部長 被災したハウスの復旧の確たる目途はたっており、育苗ハウス倒壊によって水稲苗が不足し、農協では全量を力バー出来ない恐れから、直播での対応等を含め調整していききたいとのこと。

施設園芸ハウス倒壊に関しては、今年の作付けを露地栽培に転換するなどの対応を検討しています。

平野 支援事業スタート時には、万全を期しておくべきではないのか。

経済産業部長 国や県に対し、農業用ハウスの再建等に対する支援及び補助の上乗せを要請すると共に、再建事業等が決定した時には、速やかに対応致します。

平野 損壊した市営住宅は全て修繕するのか。又、入居者の不安要素にどう向き合うのか。

土木部長 特に稲越団地の雨漏り、漏電等応急的な処置は実施しましたが、全ての修繕は考えていません。

入居者には、被害が無い住宅や他の市営住宅への転居を勧め、入居者の不安の除去に努めたいと考えています。

義務教育の就学援助について

平野 過去5年間の就学援助の対象者数と、掛かった費用の推移はどのようになっているのか。

教育部長 平成24年度の小中学校児童生徒の要保護・準要保護は合わせて185人、援助額は1千507万2千円となっており、同じく25年度は、203人、1千619万3千円、26年度は、185人、1千647万4千円、27年度は、190人、1千739万8千円、28年度は、155人、1千387万8千円で推移しています。対象者の割合は、全児童生徒の8%から9%となっています。

平野 就学援助の入学前支給を早期に実現すべきではないのか。

教育部長 現在、平成31年度の新入生から支給できるよう準備しているところです。

雪害対策の強化を



山川知一郎 議員

山川 建設業者以外にも含めた除雪体制強化と高齢者や障害者世帯の除雪や買い物などを支援するネットワークづくりが必要ではないか。

副市長 今回、土木業者以外の運送業者などにも除雪作業に参加していただき。今回の結果を踏まえ問題点を検証したいと考えています。

高齢者や障害者世帯の支援については、地域支え合いネットワークづくりを進めており、現在19地区22行政区でネットワークが作られ活動を展開しています。

このネットワークをさらに広げるとともに、高校生を含めた若い世代



市内業者による除雪

が参加しやすい仕組みを取り入れていきたいと思っています。

山川 行政区独自で除雪をした場合の助成や、農業用ハウスの倒壊等に対する支援をすべきでないか。

副市長 行政区独自での除雪に対する支援としては、今回、区内道路除排雪緊急支援交付金制度を創設して支援したいと考えています。

また、農業用ハウスの倒壊については、国や県に支援及び補助の上乗せを要請したいと考えています。

市長 こども園料についても、市民税非課税世帯は無料にするなど、支援を拡充しますが、高校卒業までの医療費無料化については、財政上、現段階では考えていません。

山川 4月から、中学校スクールバスが無料となり、医療費も中学校卒業まで病院の窓口で無料となることは大きな前進であり、高く評価する。さらに、高校卒業まで無料にするなど、子育て支援を拡充すべきでないか。

子育て支援の一層の拡充を

平成30年3月

第91回

あわらし議会定例会

議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成 X…反対 ―…欠席等 ※議長(森 之嗣)は採決に加わらないので「/」で表示		議決結果	堀田あけみ	室谷陽一郎	山口志代治	仁佐 一三	平野 時夫	毛利 純雄	吉田 太一	森 之嗣	杉本 隆洋	山田 重喜	三上 薫	八木 秀雄	笹原 幸信	山川知一郎	北島 登	向山 信博	坪田 正武	卯目ひろみ
市長提案	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度あわらし一般会計補正予算(第8号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度あわらし一般会計補正予算(第9号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度あわらし一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度あわらし一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度あわらし国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度あわらし水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度あわらし工業用水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度あわらし市公共下水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度あわらし一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度あわらし国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	平成30年度あわらし後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度あわらし農業者労働災害共済特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度あわらし水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度あわらし工業用水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度あわらし市公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度あわらし農業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわらし税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわらし企業立地の促進に係る固定資産税の課税の特則に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわらし特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわらし子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわらし母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわらし後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわらし重度障害者(児)医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわらし郷土歴史資料館条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	福井県市町総合事務組合規約の変更及び財産の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわらし教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芦原温泉上水道財産区管理委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芦原温泉上水道財産区管理委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芦原温泉上水道財産区管理委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芦原温泉上水道財産区管理委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芦原温泉上水道財産区管理委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芦原温泉上水道財産区管理委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度あわらし水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年2月の大雪に関する支援を求める意見書(議会提出議案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

討 論

平成30年度あわらし一般会計予算



平成30年度あわらし一般会計予算では、子育て支援や市民の暮らしに関わる積極的な予算が計上されている。子育て支援については、中学校のスクールバスの無料化及び子どもの医療費に係る窓口無料化、市民税非課税世帯に対することも園料の無料化など、デマンド交通の見直し及び大雪に対する除雪交付金など、市民の暮らしに関わることについては、平成29年度と比較して8千万円を超える積極的な予算が計上されている。

平成30年度あわらし国民健康保険特別会計予算

現在、あわらし市における国民健康保険加入世帯は3千768世帯、その1世帯当りの平均所得は131万8千円余りである。この中には所得ゼロの世帯が698世帯もある。あわらし市の保険料は、県内では福井市に次いで2番目に高い。保険料を支払うことは非常に厳しい。なお、滞納世帯は約700世帯、18.4%、額にして1億円を超える。基金を取り崩し、保険料の引き下げを強く求める。

また、今年から県が財政運営の責任主体となり、県の方針では算定方式に含まれる資産割を廃止することになっている。あわらし市において、平成30年度は見送るとのことであった。早急に廃止するよう求める。



●豪雪に伴う要請

結果

全員協議会で配付

提出者

花咲ふくい農業協同組合

代表理事組合長

富田

勇一

請願・陳情
意見書等

※地方自治法第99条において、議会は、あわらし市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

議会トピックス

豪雪に伴うお見舞金をいただきました。

このたびの豪雪による本市の災害に際しまして、全国市議会議長会、小浜市議会、美浜町議会、若狭町議会より、ご厚情あふれるお見舞金を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

このお見舞金は、先般の雪害対策や災害復旧事業の予算に充当させていただきました。



小浜市議会



美浜町議会



若狭町議会